

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。

してはいけないこと。

注意 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

しなければならないこと。

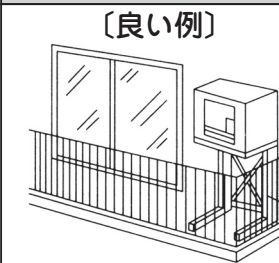
●この組立説明書はいつでも見ることができるところに必ず保存してください。

警告

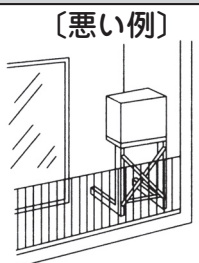


- 乾燥機は浴室や風雨にさらされる場所など、湿気の多い場所には据え付けない。
- 感電・火災・故障・変形の恐れがあります。
- 乾燥機およびユニット台の室外への据え付けは、強風などで転倒の恐れがありますので室内に据え付けてください。
- やむをえずベランダなどに据え付けるときは必ずフックとくさりで丈夫な壁や柱のすぐ前に取り付け、ユニット台の支柱をさびないワイヤー（ステンレス製針金など）などでベランダのさくなどにしっかり固定してください。また雨がかからないようにしてください。

室外への据え付けかたについて



- 雨がかからないようにしてください。
- ワイヤーなどでしっかり固定する。

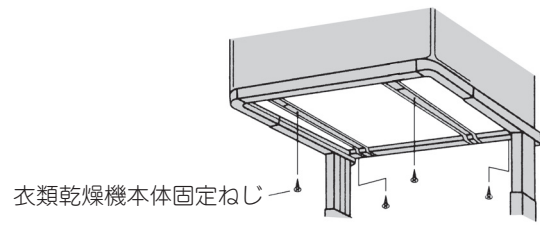
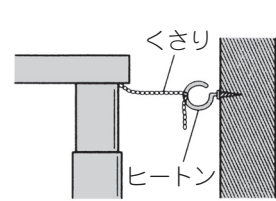


- ベランダのさくの前には据え付けてください。
- 転倒・落下の恐れがあります。

注意



- 組み立て、据え付けの際は、必ず手袋を着用する。
- 鋼板の端などでけがをすることがあります。
- ユニット台は、壁のすぐ前に設置し、くさり(ユニット台に付属)にて壁や柱につなぐ。
- *ベニヤ板や土壁などには取り付けしないでください。
- *くさはりはたるませないでください。
- *水平で丈夫な床面に設置してください。
- 乾燥機本体はユニット台にねじでしっかり固定する。また、据え付けた乾燥機にぶらさがらない。
- 本体の落下によりけがをすることがあります。



設置標準寸法

上部にスケールが印刷されています。洗濯機の外枠の寸法を確かめるときお使いください。

●洗濯機、乾燥機の種類によりユニット台の設置寸法が変わります。横幅と高さを洗濯機の大きさに合わせて、奥行を乾燥機の大きさに合わせて調節してください。

表1 奥行の調節寸法

ご使用の乾燥機の種類 (奥行寸法は代表例です。)			ユニット台の奥行		ユニット台の最小設置横幅 (表3参照)
外枠の幅(mm)	乾燥容量	奥行(mm)	上棚の刻印	寸法(mm)	寸 法 (mm)
630	4.5kg	436	2	400	610
	5.5kg	506	4	480	
	6.0kg	516			

表2 高さの調節寸法

ユニット台の高さと刻印 支柱の刻印		寸法(mm)
1	1040	
2	1085	
3	1150(出荷時)	
4	1200	
5	1250	
6	1290	

表3 横幅の調節寸法

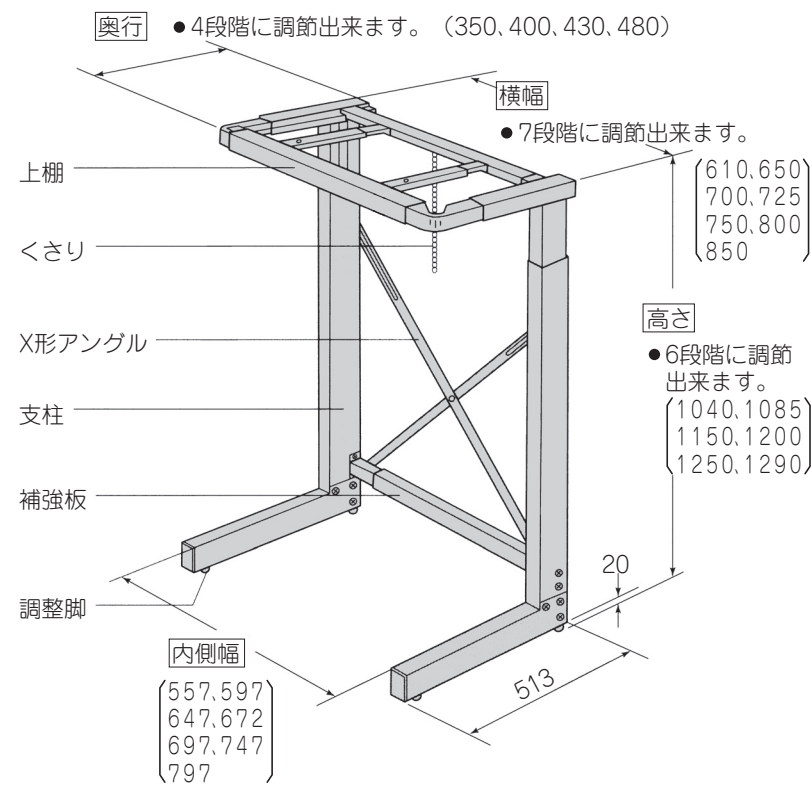
ユニット台の横幅と刻印および使用穴位置			
後部上棚の刻印	補強板の穴番号	X形アングルのねじ締付位置	寸法(mm)
1	1	1番下の穴	610(出荷時)
A	A	下から2番目の穴	650
2	2	下から3番目の穴	700
3	3	下から4番目の穴	725
4	4	下から5番目の穴	750
5	5	下から6番目の穴	800
6	6	下から7番目の穴	850

ご注意

- 乾燥容量5.5kg、6.0kgの乾燥機を設置する場合は、横ゆれが多少大きくなります。強度上の心配はありませんがユニット台の高さを刻印5以下で使用されますと横ゆれは気にならない程度になります。

完成図と各部のなまえ

次のような部品が同梱されています。お確かめください。

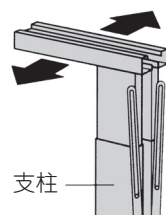


組み立てかた

出荷時は高さが1150mm、幅が610mm、奥行が400mmになるようにセットしてあります。

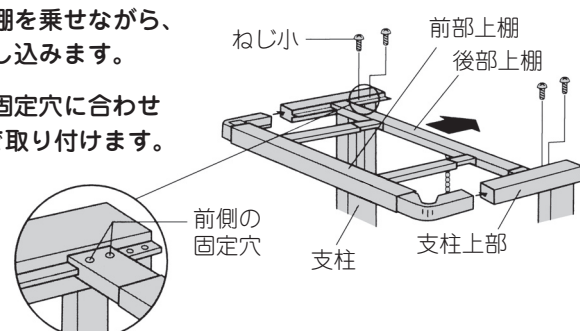
1 支柱を広げます。

- 広げると幅が610mm、高さが1150mmになります。



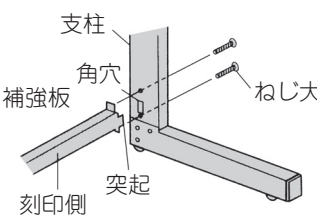
2 上棚を取り付けます。

- 支柱の上部両側に後部上棚を乗せながら、前部上棚を支柱上部にさし込みます。
- 後部上棚を支柱の前側の固定穴に合わせて付属のねじ小(4個)で取り付けます。



3 補強板を取り付けます。

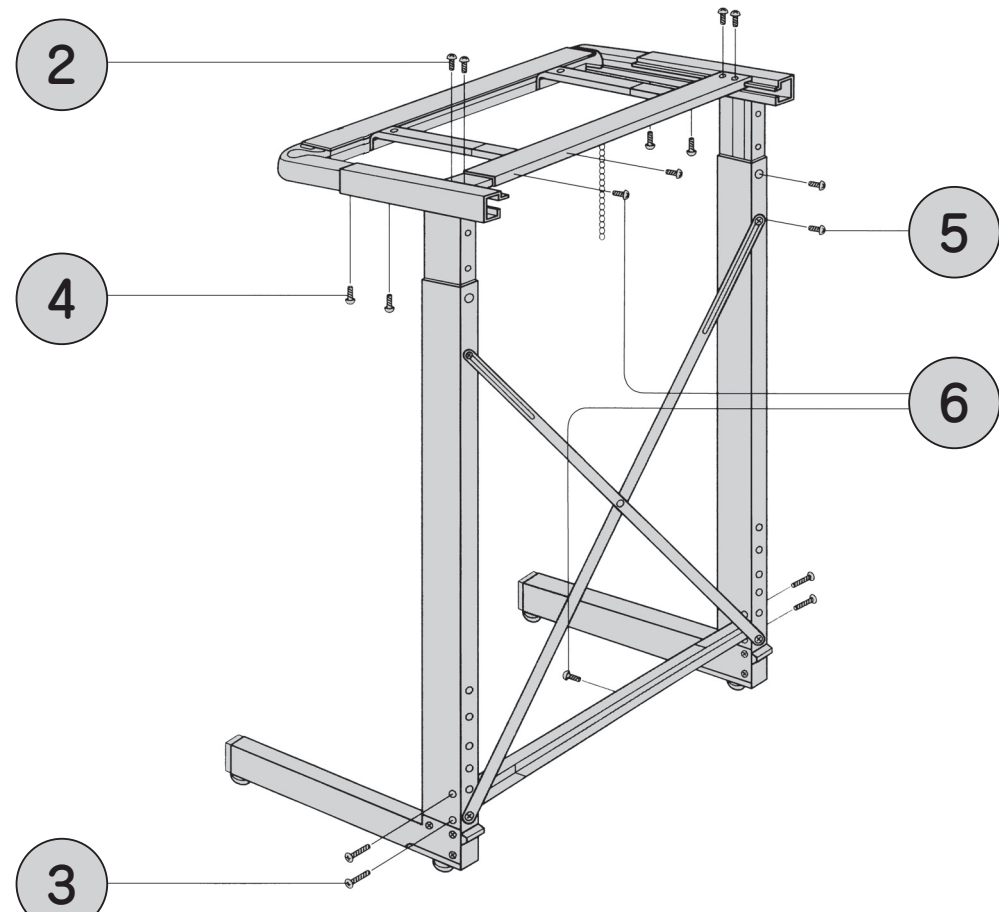
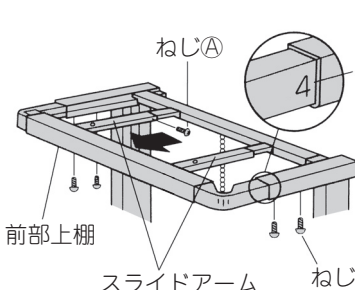
- 付属のねじ大(4個)で取り付けます。
- 支柱の角穴に補強板の突起を合わせてください。
- 刻印が前側にくるようにしてください。



4 上棚の奥行を調節します。(設置標準寸法の表1を参照ください。)

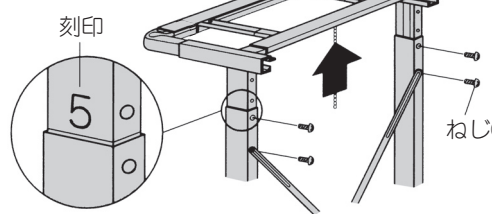
- スライドアームを固定しているねじAを外します。(1個—このねじは使いません。)
- *奥行が400mmの場合は外す必要はありません。

- 上棚を設置する乾燥機の種類に応じた刻印に合わせて付属のねじ小(4個)で取り付けます。



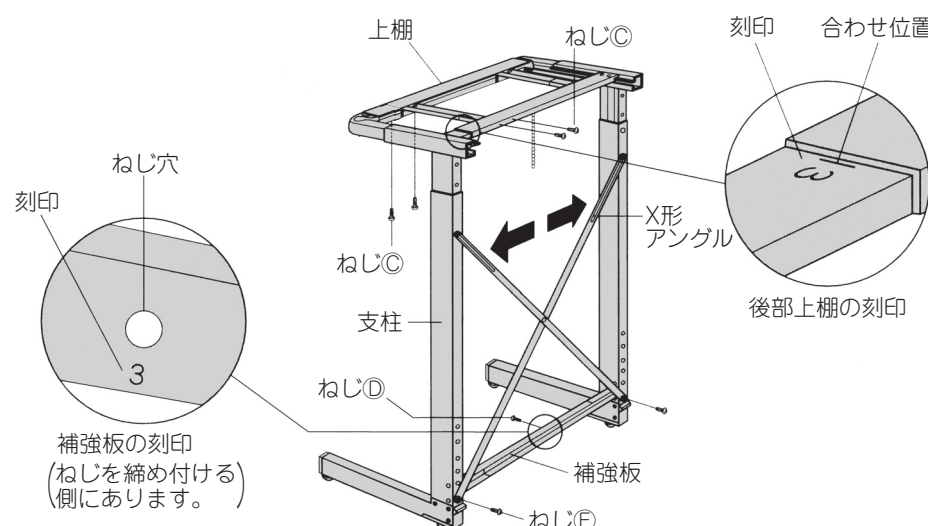
5 高さを調節します。(設置標準寸法の表2を参照ください。)

- 支柱を固定しているねじB(4個)を外します。
- 標準高さに応じた刻印に合わせます。
- ねじBをもとどおり締め付けます。



6 幅を調節します。(設置標準寸法の表3を参照ください。)

- 下図の前部上棚、後部上棚のねじC(計4個)、補強板のねじD(1個)を外します。
- X形アングルを固定している下側のねじE(2個)を外します。
- 支柱を広げ(または狭め)、後部上棚と補強板のねじ穴を洗濯機の大きさに応じた刻印に合わせ、もとどおりねじを締め付けます。
- X形アングルの下側をその幅になる位置に付けかえ、ねじEを締め付けます。



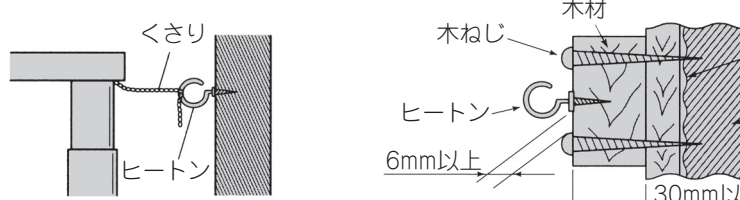
- それぞれのねじをもう一度強く締め、組立具合を確かめてください。
- X形アングルを取り付けているねじ(4個)は仮締めにしてあります。必ず締めなおしてください。

据え付けかた

床面が平らでしっかりした湿気の少ない場所を選んでください。

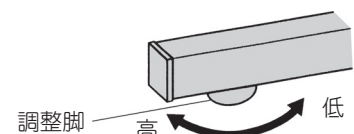
1 ユニット台を設置します。

- 転倒防止のため、壁のすぐ前に設置し、くさを付属のヒートンで丈夫な壁または柱に取り付けます。
- メタルラス張り、ワイヤラス張りの壁にヒートンを取り付ける場合ヒートンとメタルラス、ワイヤラスが接触しないよう右図のようにヒートンを取り付けてください。(電気設備技術基準により義務づけられています。)



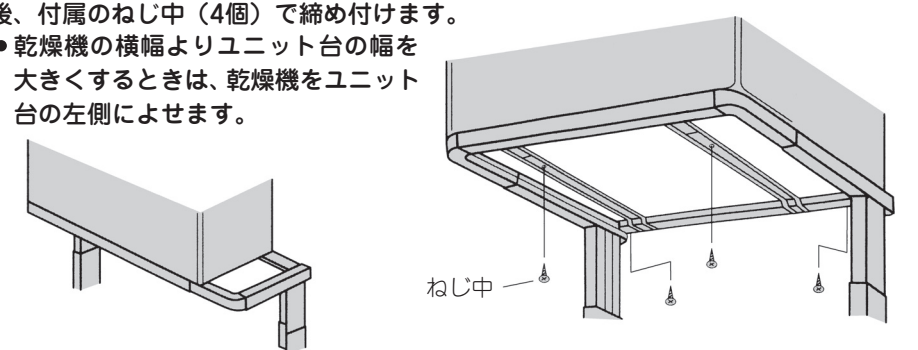
2 ユニット台のガタつきを調整します。

- ユニット台がガタつかないように調整足を調節します。

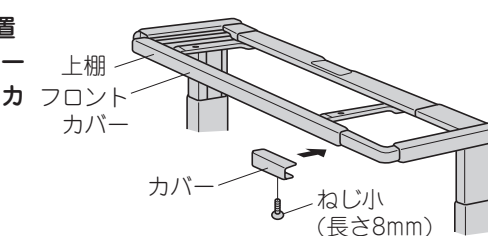


3 乾燥機を設置します。

- 乾燥機を上棚に乗せ、4箇所穴位置を確認する場合は、ユニット台のフロントカバーを乾燥機の横幅に合わせるため、付属のカバーを取り付けます。
- ねじ位置は裏面を参照下さい。

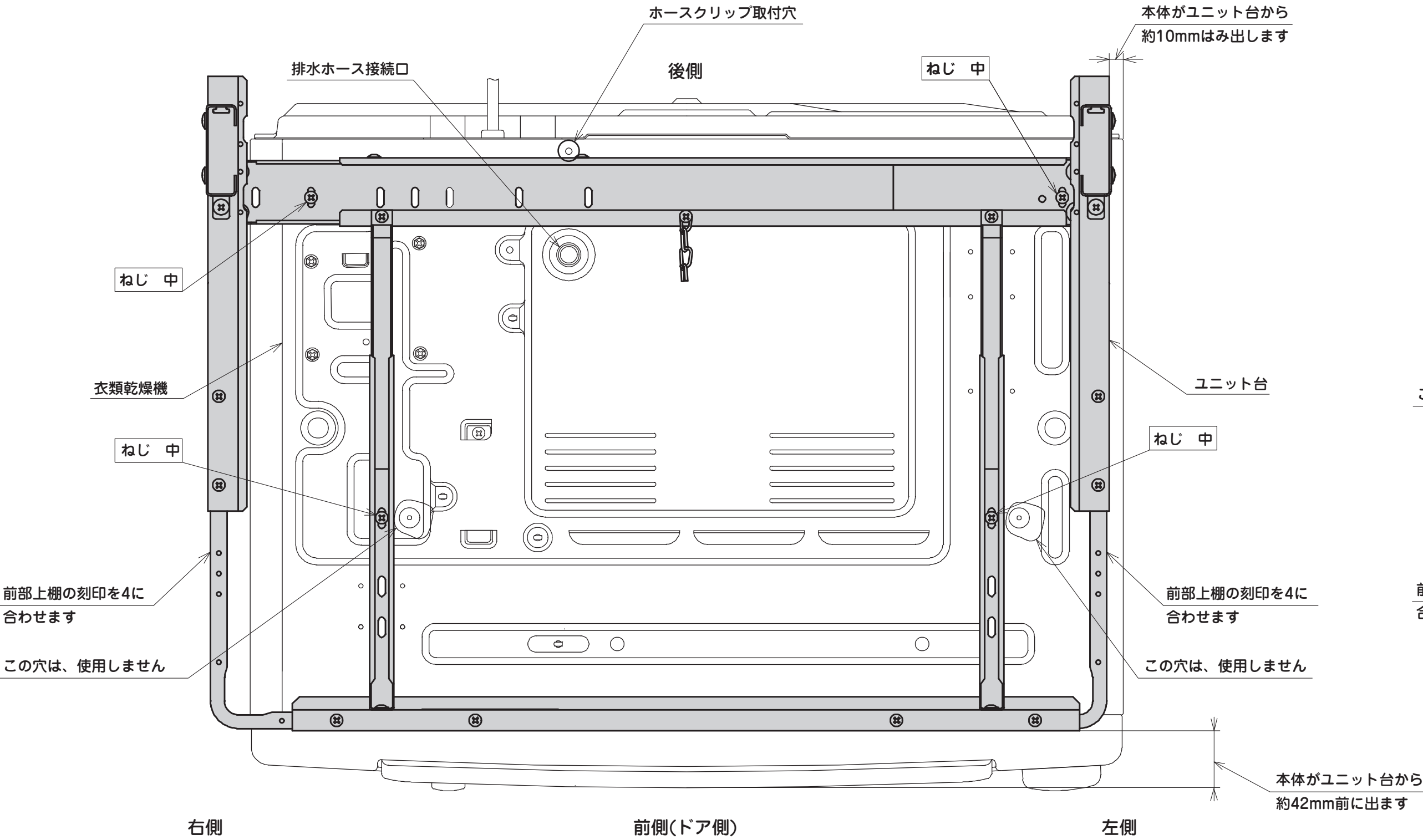


- 真四角形(横幅650mm)の乾燥機を設置する場合は、ユニット台のフロントカバーを乾燥機の横幅に合わせるため、付属のカバーを取り付けます。

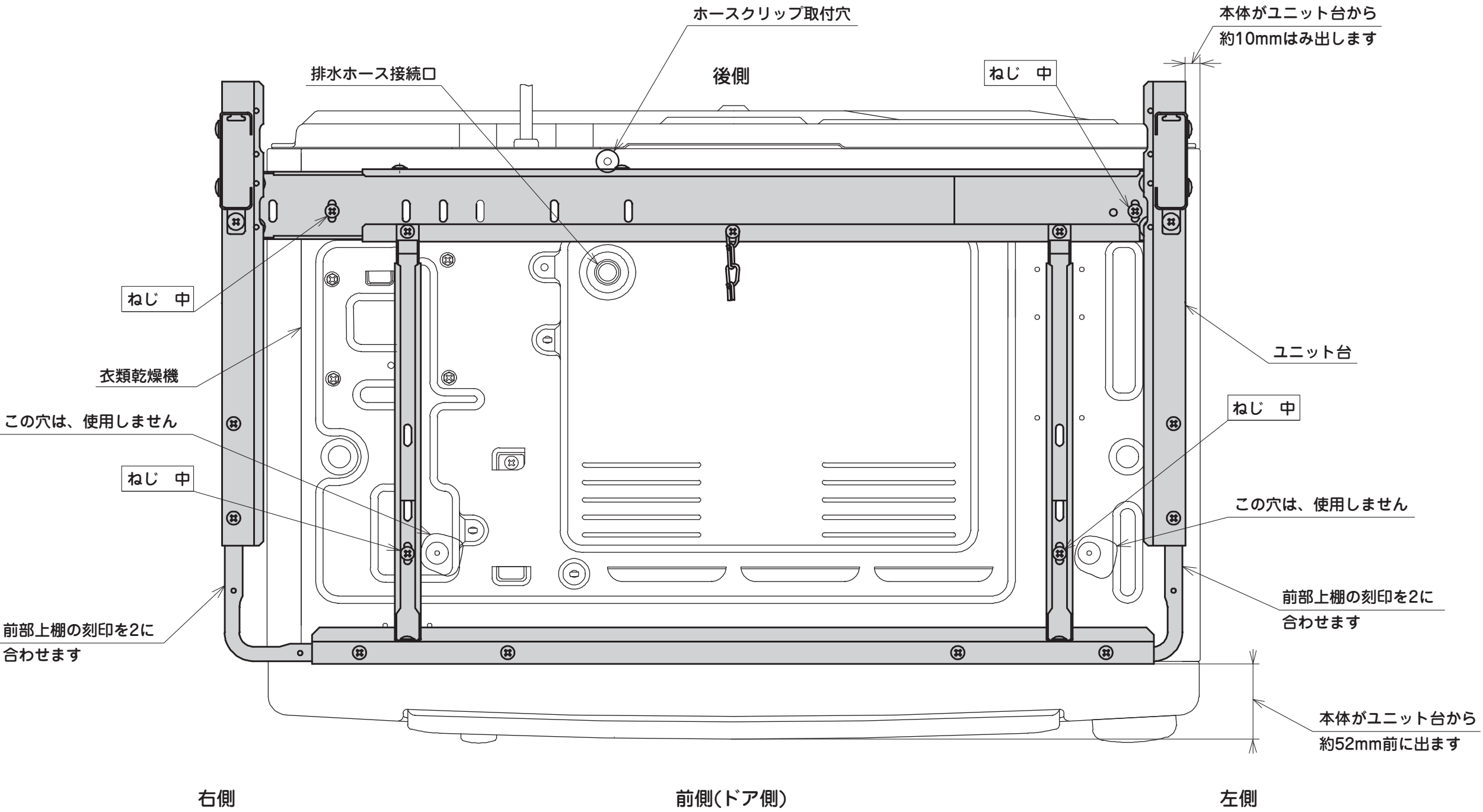


衣類乾燥機の取付け位置図

乾燥容量6.0kgタイプ(KD-60C)、5.5kgタイプ(KD-55F、KD-55Nなど)の取付け位置(下から見た図です。)



乾燥容量4.5kgタイプ(KD-45Nなど)の取付け位置(下から見た図です。)



備考

ねじ 中・・・乾燥機本体固定ねじ（4箇所）
（乾燥機本体を設置後、ねじ穴に合わせて締め付けます）

洗濯機（全自動洗濯機、二槽式洗濯機）の横幅の大きさにより、ユニット台右側がスライドします。

衣類乾燥機本体をユニット台左側によせて設置してください。